

■ 本年度整備内容～試掘について～

8月より11月にかけて、試掘を行います。

試掘は以下の箇所を予定しています。日程などの詳細については、試掘事業者から改めてお知らせをいたします。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いいたします。なお、試掘の箇所はいずれも道路及び公園内です。

●：試掘予定箇所（17か所）

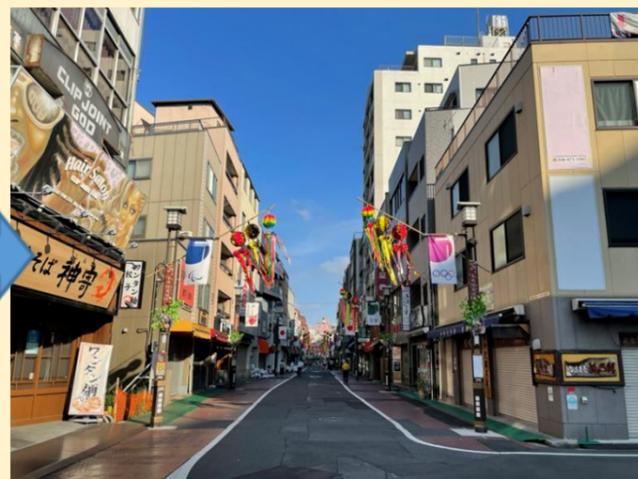


■ 無電柱化の区内事例～巣鴨地蔵通り～

令和3年6月に巣鴨地蔵通り入口部の無電柱化が完了しました！



無電柱化前



無電柱化後

■ 立教通り整備に関するお問い合わせは、下記の事務局にお寄せください。

立教通り整備推進協議会 事務局 豊島区都市整備部道路整備課道路設計グループ
 担当) 小俣・加瀬・茂木 電話) 03-3981-4879 メール) A0023309@city.toshima.lg.jp

西池袋まちづくりニュース

No.9

立教通り整備推進協議会 事務局

立教通り整備事業の概要とスケジュールについて

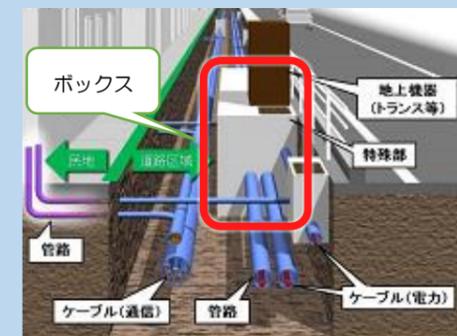
立教通り整備事業は、長期化するコロナ禍をふまえ財政負担の平準化などの検討を行いながら、整備スケジュールを見直してきました。見直した今年度のスケジュールについてお知らせいたします。また、改めて立教通り整備事業の概要をお知らせいたします。

令和3年度は、1工区の試掘調査と企業者の埋設管の移設工事を行います。

令和3年度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
試掘設計	試掘調査				設計			
企業者移設工事							移設工事	

■ 試掘調査（※詳細は3ページに掲載しています）

電線共同溝整備では、ボックス（1.2m×3.0m程度の大きさ）を道路の地中に埋設し管路を繋いでいきます。そのため既存の埋設物の位置を正確に把握する必要があります。今回は、3ページのとおり、17か所を試掘調査いたします。



■ 企業者の埋設管移設工事

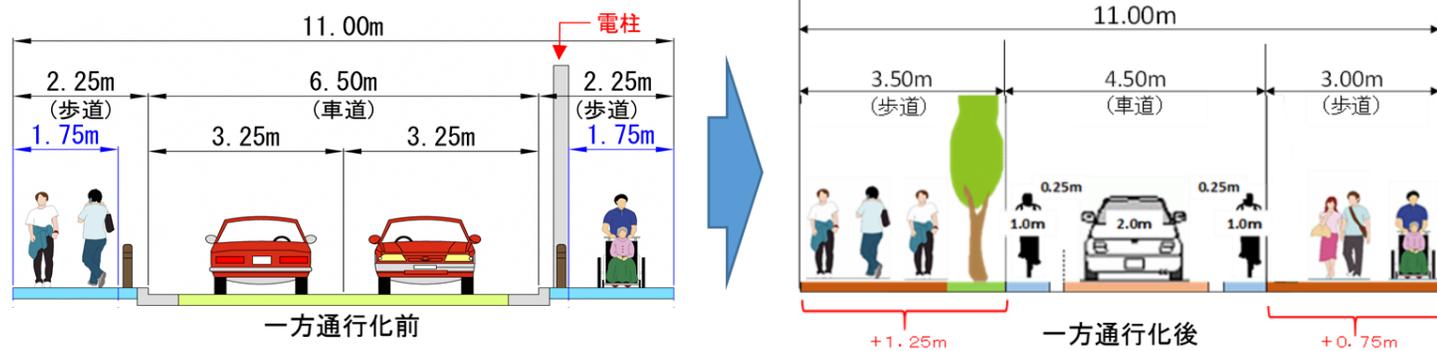
電線共同溝整備に支障となるガス管や水道管を移設します。移設の際には沿道への影響を最小限に抑えるよう、施工の方法等について配慮します。



立教通り道路整備事業概要～無電柱化・一方通行化・環境モデル路線整備等について～

■一方通行化及び歩道幅員拡幅

立教通りを一方通行化することで、歩道を拡幅し道路の快適性、安全性を向上させます。



※相互通行区間では、無電柱化することで歩道幅が25cm程度広がります

■環境モデル路線整備

積極的に緑化をすることで、環境にやさしい路線を整備します。

植栽部に雨水貯留浸透施設を設置することで、舗装面温度上昇や急激な雨水流出を抑制します。



樹木を新植することで、蒸散効果を高めて、気温上昇を抑制します。



■周辺道路への交通安全対策

立教通り一方通行化による周辺道路交通への影響は少ないという検討結果がでておりますが、面的に安全性を向上させるため、当該地域の積極的な安全対策を検討します。

【交通安全対策の例】

- ①狭さく（路側帯にポール等を設置し、車両の速度の抑制を図る）
- ②カラー舗装（歩道や交差点を明確にし、車両への注意喚起を図る）



①狭さく



②カラー舗装

■街路灯新設

道路整備に併せ、街路灯を新設します。新設にあたっては、立教通りの景観に配慮したデザインとします。



■今後の整備スケジュールについて

立教通りは上図のとおり、1工区～3工区の3つに分けて、順次整備します。

1工区については以下のとおり、令和7年度に工事完了を予定しております。なお、一方通行化については令和4年度より、交番側から順次行っていく予定です。

- ・令和4年～5年：電線共同溝整備
- ・令和5年～6年：電線撤去工事等
- ・令和7年：道路舗装工事